

[立教大学法学部公開講演会]

国際経済秩序の《地殻変動》を問う～我々はどこに向かうのか～

一帯一路政策，トランプ政権誕生，米中貿易紛争，移民排斥，GAF A 等デジタルプラットフォームの急成長，…。現在，国際経済秩序は大きな地殻変動に見舞われている。これは経済のグローバル化が必然的にもたらした現象なのか，それとも，我々はこの試練を乗り越え，グローバル化の恩恵を受け続けられるのか。日本を代表する有識者の方々をお招きし，分かりやすく解説していただきます。

ご興味のある方お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日時：2019年3月5日（火）18:00～20:00

場所：立教大学（池袋キャンパス）太刀川記念館3F カンファレンスホール

～～プログラム（案）～～

17:30- 開場・受付

18:00-18:05 開会挨拶 松田宏一郎（立教大学法学部長）

18:05-18:30 「中国の大計・米国の野心～《Gゼロ》世界の主役の交代はあるのか～」

太田泰彦氏（日本経済新聞社 編集委員兼論説委員）

18:30-18:50 「トランプ政権がもたらす国際通商システムの変容～TPP11 の意義，そしてWTO改革～」

川瀬剛志氏（上智大学法学部教授／経済産業研究所ファカルティフェロー）

18:50-19:10 「グローバル化と保護主義」

戸堂康之氏（早稲田大学政治経済学部教授／経済産業研究所ファカルティフェロー）

19:10-19:15 （休憩）

19:15-20:00 パネル・ディスカッション「国際経済の《地殻変動》を問う」

司会： 東條吉純（立教大学法学部教授）

パネリスト： 太田泰彦氏、川瀬剛志氏、戸堂康之氏